

個人投資家1,000人の投資「通算実績」調査

2012年7月25日

アブラハム・プライベートバンク株式会社
株式会社 富士経済

< 調査概要 >

調査目的

本調査では、日本人の個人投資家の投資実績や評価などについてデータの収集・提供を調査目的とする。

調査方法

WEBアンケート調査

調査期間・調査担当

2012年5月21日～6月18日

(株)富士経済

調査対象 (WEB調査)

累計投資金額が300万円以上の日本国内在住の個人投資家 (20歳以上の男女)

⇒ 1000名

調査項目

- ◆属性 (性別、年齢、居住地、職業、年収等)
- ◆保有する金融商品の種類、投資開始時期
- ◆金融商品別投資に対する収益性自己評価

など

< 目 次 >

<総括&全体集計結果>

- ◆総括：損益状況、投資歴と損益率 1
- ◆サンプル属性（性別、年齢、居住地、職業、年収等） 6
- ◆保有する金融商品の種類、投資開始時期 14
- ◆金融商品別投資に対する収益性自己評価 17

<識者論評>

- ◆経済評論家 山崎元氏 21

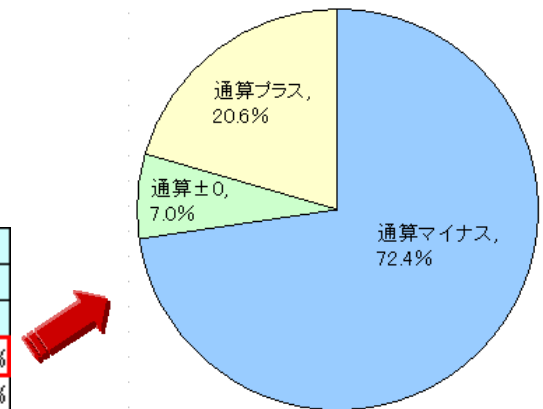
総括 1 損益状況

1. 通算損益額の正負別回答割合

- ◆ 金融商品トータルで利益を出している個人投資家は全体の20.6%、イーブンである±0が7.0%、損失を出している層が72.4%となっている。

トータルの通算損益額 正負別回答割合
(n=1,000)

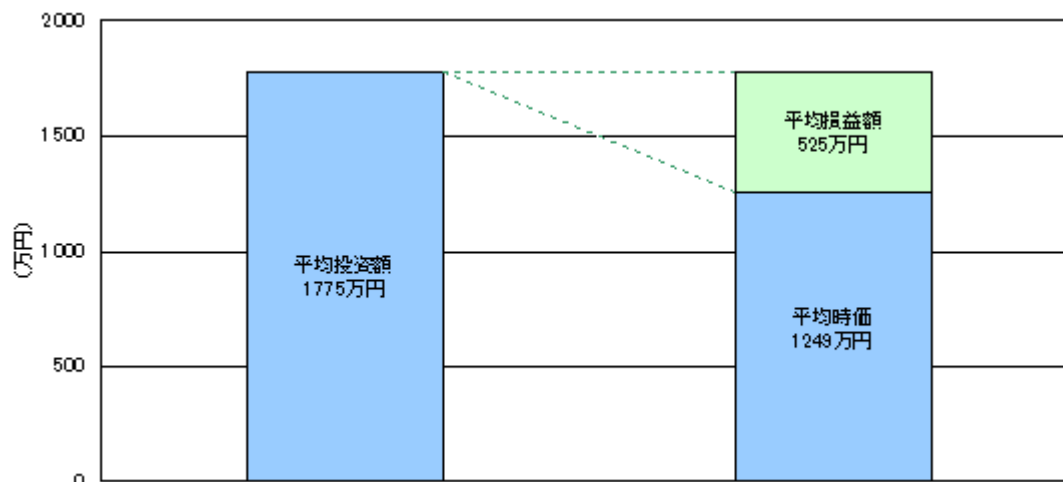
	該当数	通算損益額					
		マイナス		±0		プラス	
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
トータル	1,000人	724人	72.4%	70人	7.0%	206人	20.6%
株式(国内で発行されたもの)	861人	607人	70.5%	85人	9.9%	169人	19.6%
投資信託(国内で設定されたもの)	576人	403人	70.0%	78人	13.5%	95人	16.5%
公社債(国内で発行されたもの)	282人	95人	33.7%	82人	29.1%	105人	37.2%
海外ファンド・海外株式等	198人	112人	56.6%	34人	17.2%	52人	26.3%
FX、CFD、商品先物取引	196人	116人	59.2%	26人	13.3%	54人	27.6%
投資用不動産	96人	46人	47.9%	23人	24.0%	27人	28.1%
外貨預金	351人	199人	56.7%	64人	18.2%	88人	25.1%
その他	104人	47人	45.2%	21人	20.2%	36人	34.6%



総括2 損益状況

2. 平均損益額・損益率

- ◆ 個人投資家は今までの金融商品トータルの累計投資金額の平均金額が1,775万円となり、現在の時価平均額が1,249万円、結果的に損失平均額が525万円(−28.7%の損失)となっている。



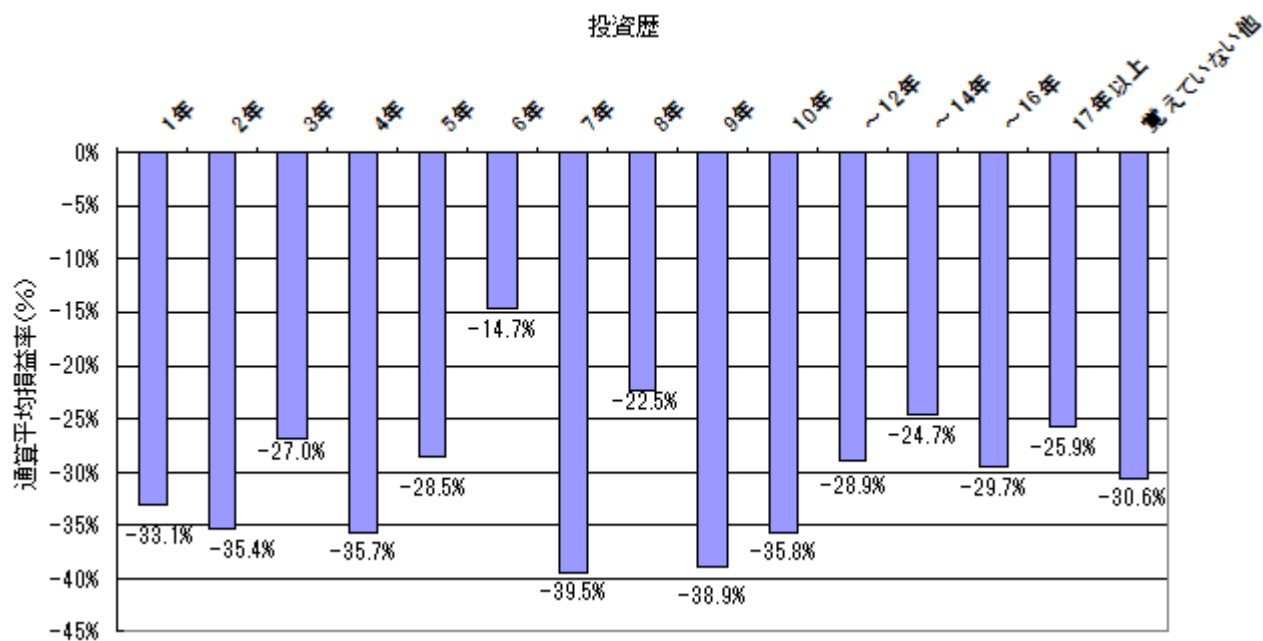
	該当数(人)	平均投資額	平均時価	損益平均額	平均損益率
トータル	1,000人	1,775万円	1,249万円	-525万円	-28.7%

- ◆ 損益率は金融商品トータルの損益金額から累計投資金額を割り込んだ増減率。

総括3 投資歴と損益率

3. 金融商品トータルにおける、投資歴別通算損益率分布状況

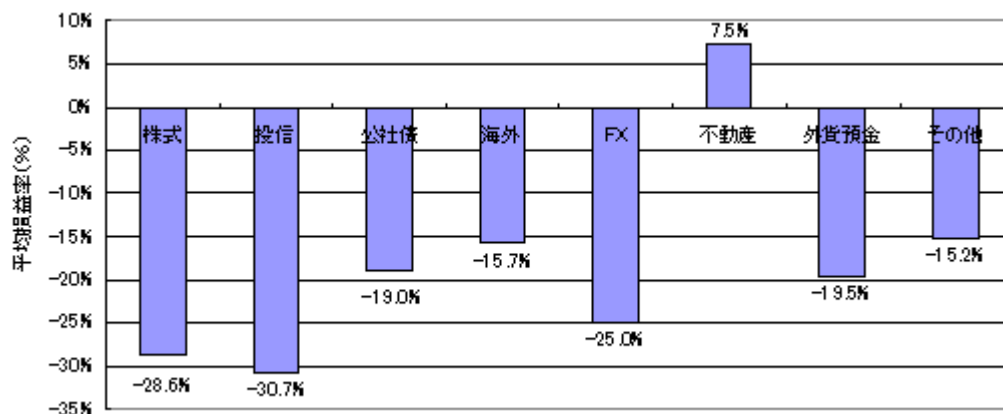
◆ いつから投資を始めたかに関わらず、通算損益平均率はすべてマイナスとなっている。



総括4 商品別損益状況

4. 商品別平均損益率

- ◆ 商品別の平均損益率では、投資信託が最大で▲30.7%、株式が▲28.6%、FXが▲25.0%と続いている。サンプル数が少ない不動産投資以外、すべての商品で平均損益率はマイナスとなっている。



	該当数(人)	平均投資額	平均時価	損益平均額	平均損益率
トータル	1,000人	1,775万円	1,249万円	-525万円	-28.7%
株式(国内で発行されたもの)	861人	957万円	662万円	-295万円	-28.6%
投資信託(国内で設定されたもの)	576人	547万円	382万円	-166万円	-30.7%
公社債(国内で発行されたもの)	282人	458万円	338万円	-120万円	-19.0%
海外ファンド・海外株式等	198人	415万円	285万円	-130万円	-15.7%
FX、CFD、商品先物取引	196人	467万円	258万円	-210万円	-25.0%
投資用不動産	96人	1,724万円	1,354万円	-370万円	7.5%
外貨預金	351人	311万円	246万円	-65万円	-19.5%
その他	104人	562万円	407万円	-155万円	-15.2%

総括5 株式投資の結果

5. 株式投資の結果

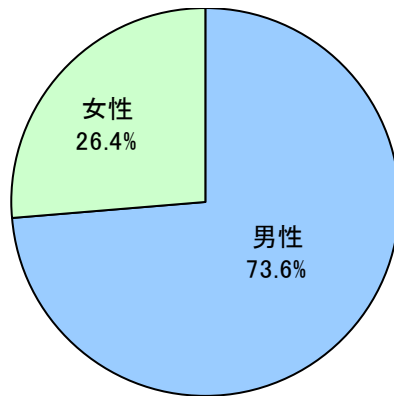
- ◆ 個人投資家の86.1%(1,000人中861人)は株式投資の経験がある。
- ◆ その内、通算損益額がプラスの人は19.6%、マイナスの人は70.5%となっている。
- ◆ マイナスの人は、累計投資金額の平均金額が1,002万円、現在の時価平均額が469万円、結果的に損失平均額が533万円(−53.2%の損失)となっている。

	株式投資全体	株式投資の通算損益がマイナスの人
該当数(人)	861人	607人
平均投資額	957万円	1,002万円
平均時価	662万円	469万円
損益平均額	-295万円	-533万円
平均損益率	-28.6%	-53.2%

サンプル属性

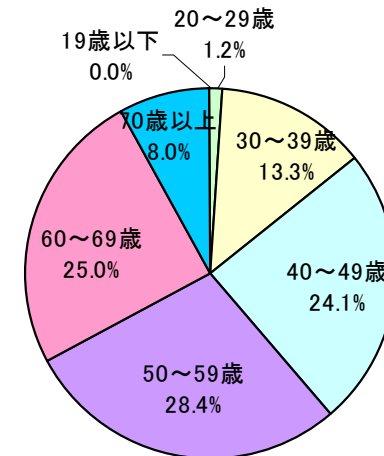
F. 1 あなたの性別を教えてください。(SA)

	回答数	%
全体	1000	100.0
男性	736	73.6
女性	264	26.4



F. 2 あなたの年齢を教えてください。(SA)

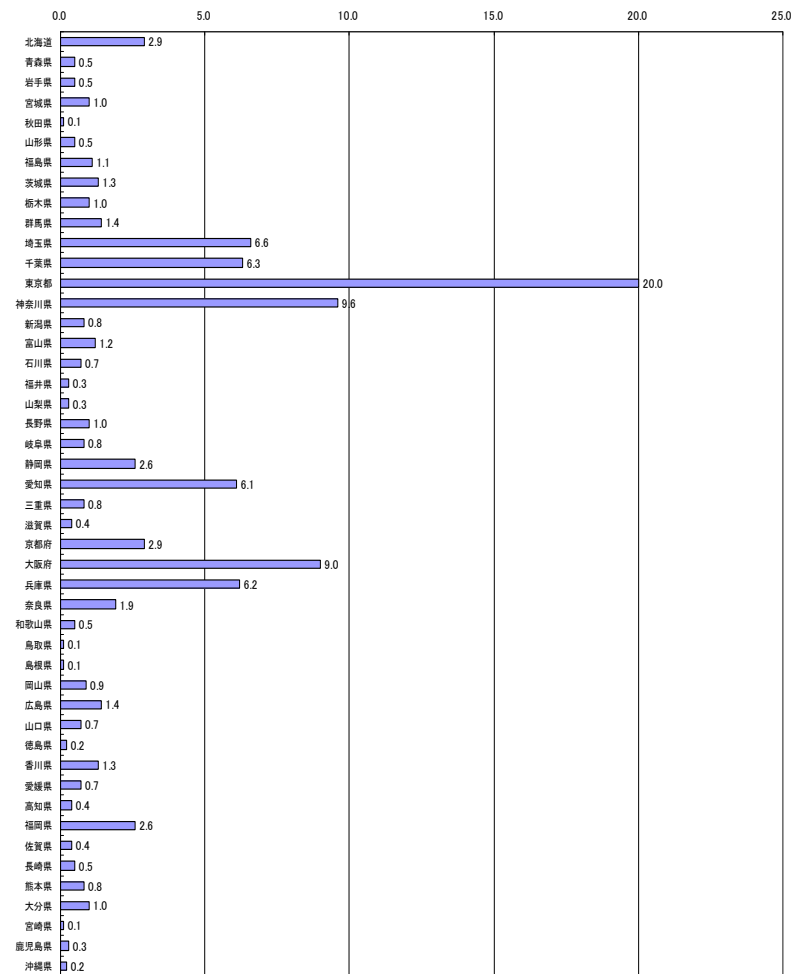
	回答数	%
全体	1000	100.0
19歳以下	0	0.0
20~29歳	12	1.2
30~39歳	133	13.3
40~49歳	241	24.1
50~59歳	284	28.4
60~69歳	250	25.0
70歳以上	80	8.0



サンプル属性

F. 3-1 あなたの居住地を教えてください。(SA)

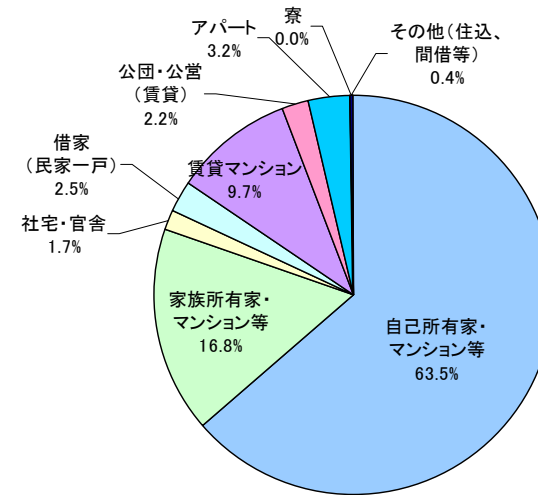
		回答数	%								
全体		1000	100.0	16	富山県	12	1.2	32	鳥根県	1	0.1
1	北海道	29	2.9	17	石川県	7	0.7	33	岡山県	9	0.9
2	青森県	5	0.5	18	福井県	3	0.3	34	広島県	14	1.4
3	岩手県	5	0.5	19	山梨県	3	0.3	35	山口県	7	0.7
4	宮城県	10	1.0	20	長野県	10	1.0	36	徳島県	2	0.2
5	秋田県	1	0.1	21	岐阜県	8	0.8	37	香川県	13	1.3
6	山形県	5	0.5	22	静岡県	26	2.6	38	愛媛県	7	0.7
7	福島県	11	1.1	23	愛知県	61	6.1	39	高知県	4	0.4
8	茨城県	13	1.3	24	三重県	8	0.8	40	福岡県	26	2.6
9	栃木県	10	1.0	25	滋賀県	4	0.4	41	佐賀県	4	0.4
10	群馬県	14	1.4	26	京都府	29	2.9	42	長崎県	5	0.5
11	埼玉県	66	6.6	27	大阪府	90	9.0	43	熊本県	8	0.8
12	千葉県	63	6.3	28	兵庫県	62	6.2	44	大分県	10	1.0
13	東京都	200	20.0	29	奈良県	19	1.9	45	宮崎県	1	0.1
14	神奈川県	96	9.6	30	和歌山県	5	0.5	46	鹿児島県	3	0.3
15	新潟県	8	0.8	31	鳥取県	1	0.1	47	沖縄県	2	0.2



サンプル属性

F. 3-2 あなたの居住区分を教えてください。(SA)

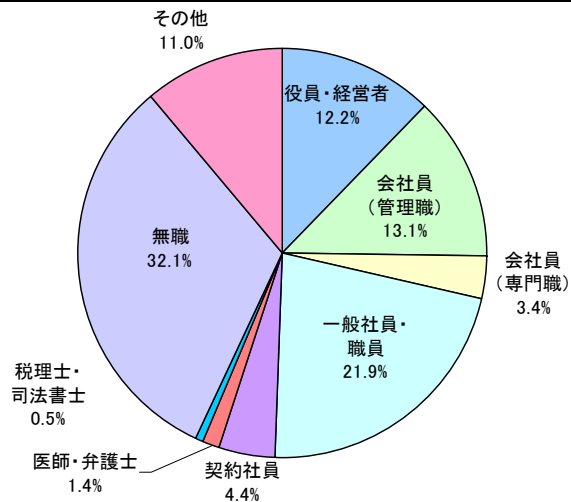
	回答数	%
全体	1000	100.0
自己所有家・マンション等	635	63.5
家族所有家・マンション等	168	16.8
社宅・官舎	17	1.7
借家(民家一戸)	25	2.5
賃貸マンション	97	9.7
公団・公営(賃貸)	22	2.2
アパート	32	3.2
寮	0	0.0
その他(住込、間借等)	4	0.4



サンプル属性

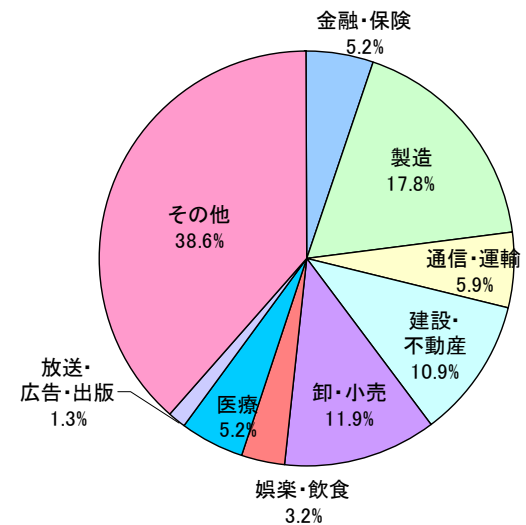
F. 4-1 あなたの職業を教えてください。(SA)

	回答数	%
全体	1000	100.0
役員・経営者	122	12.2
会社員(管理職)	131	13.1
会社員(専門職)	34	3.4
一般社員・職員	219	21.9
契約社員	44	4.4
医師・弁護士	14	1.4
税理士・司法書士	5	0.5
無職	321	32.1
その他	110	11.0



F. 4-2 職業の業種を教えてください。(SA)

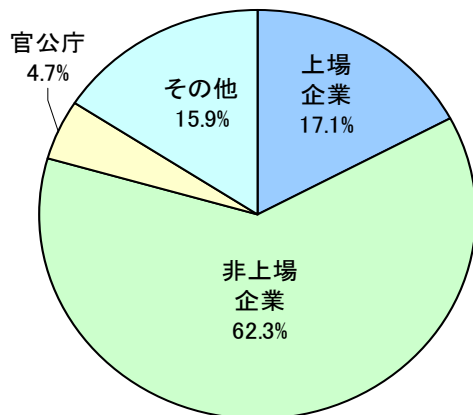
	回答数	%
全体	679	100.0
金融・保険	35	5.2
製造	121	17.8
通信・運輸	40	5.9
建設・不動産	74	10.9
卸・小売	81	11.9
娯楽・飲食	22	3.2
医療	35	5.2
放送・広告・出版	9	1.3
その他	262	38.6



サンプル属性

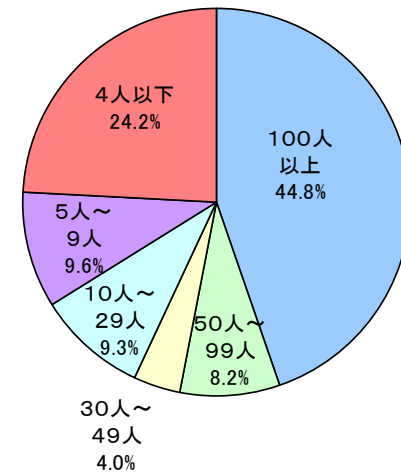
F. 4-3 あなたのお勤めの会社の区分・形態を教えてください。(SA)

	回答数	%
全体	679	100.0
上場企業	116	17.1
非上場企業	423	62.3
官公庁	32	4.7
その他	108	15.9



F. 4-4 あなたのお勤めの会社の規模を教えてください。(SA)

	回答数	%
全体	679	100.0
100人以上	304	44.8
50人~99人	56	8.2
30人~49人	27	4.0
10人~29人	63	9.3
5人~9人	65	9.6
4人以下	164	24.2

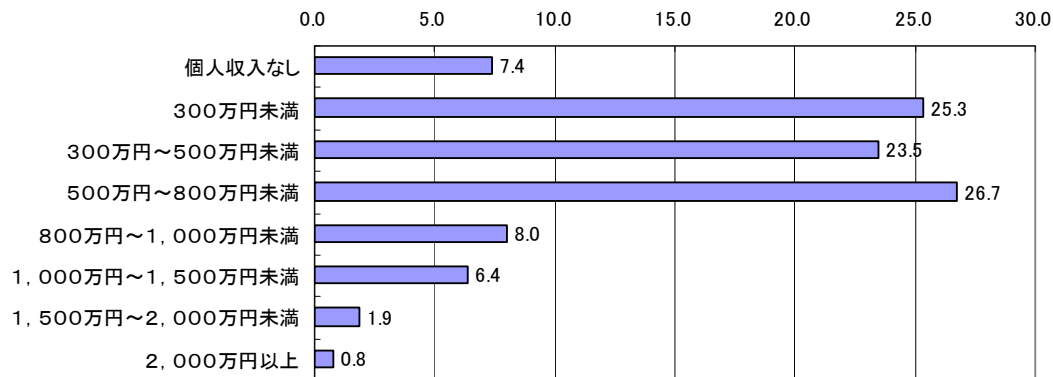


サンプル属性

F. 5-1 あなたの個人年収を教えてください。(NU)

	回答数	%
全体	1000	100.0
平均値		477.05
最小値		0.00
最大値		2300.00

	回答数	%
全体	1000	100.0
個人収入なし	74	7.4
300万円未満	253	25.3
300万円～500万円未満	235	23.5
500万円～800万円未満	267	26.7
800万円～1,000万円未満	80	8.0
1,000万円～1,500万円未満	64	6.4
1,500万円～2,000万円未満	19	1.9
2,000万円以上	8	0.8

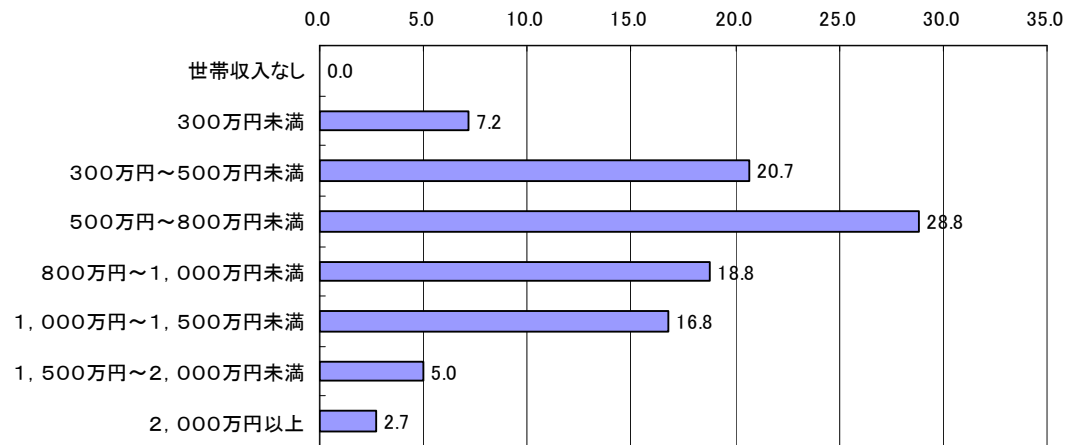


サンプル属性

F. 5-2 あなたの世帯年収を教えてください。(NU)

	回答数	%
全体	1000	100.0
平均値		766.68
最小値		120.00
最大値		3300.00

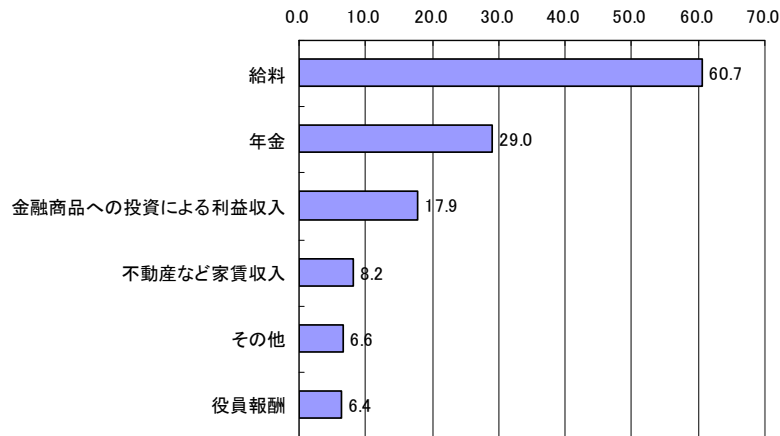
	回答数	%
全体	1000	100.0
世帯収入なし	0	0.0
300万円未満	72	7.2
300万円～500万円未満	207	20.7
500万円～800万円未満	288	28.8
800万円～1,000万円未満	188	18.8
1,000万円～1,500万円未満	168	16.8
1,500万円～2,000万円未満	50	5.0
2,000万円以上	27	2.7



サンプル属性

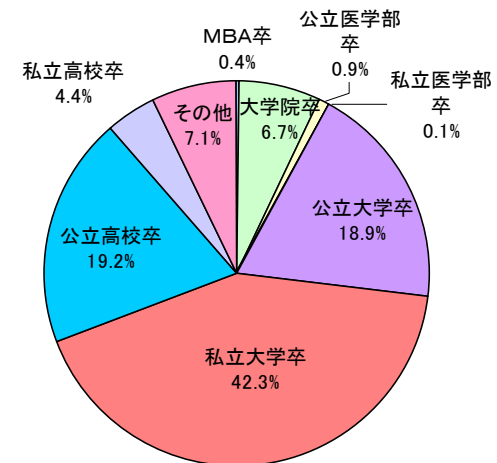
F. 5-3 あなたの主な収入源は何ですか。(MA)

	回答数	%
全体	1000	100.0
給料	607	60.7
年金	290	29.0
金融商品への投資による利益収入	179	17.9
不動産など家賃収入	82	8.2
その他	66	6.6
役員報酬	64	6.4



F. 6 あなたの最終学歴を教えてください。(SA)

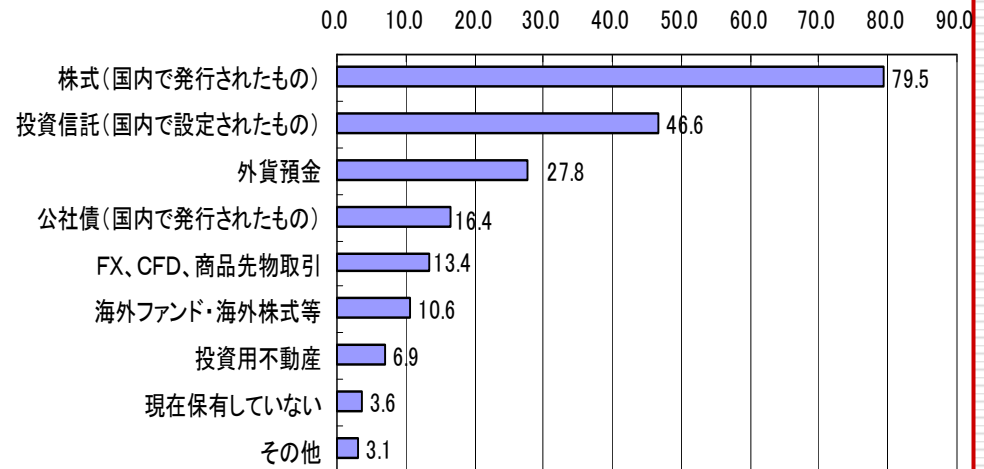
	回答数	%
全体	1000	100.0
MBA卒	4	0.4
大学院卒	67	6.7
公立医学部卒	9	0.9
私立医学部卒	1	0.1
公立大学卒	189	18.9
私立大学卒	423	42.3
公立高校卒	192	19.2
私立高校卒	44	4.4
その他	71	7.1



Q.1 保有する金融商品

Q. 1-1 次の金融商品のうち、あなたが現在保有しているものをお答えください。(MA)

	回答数	%
全体	1000	100.0
株式(国内で発行されたもの)	795	79.5
投資信託(国内で設定されたもの)	466	46.6
外貨預金	278	27.8
公社債(国内で発行されたもの)	164	16.4
FX、CFD、商品先物取引	134	13.4
海外ファンド・海外株式等	106	10.6
投資用不動産	69	6.9
現在保有していない	36	3.6
その他	31	3.1



Q.1 保有する金融商品

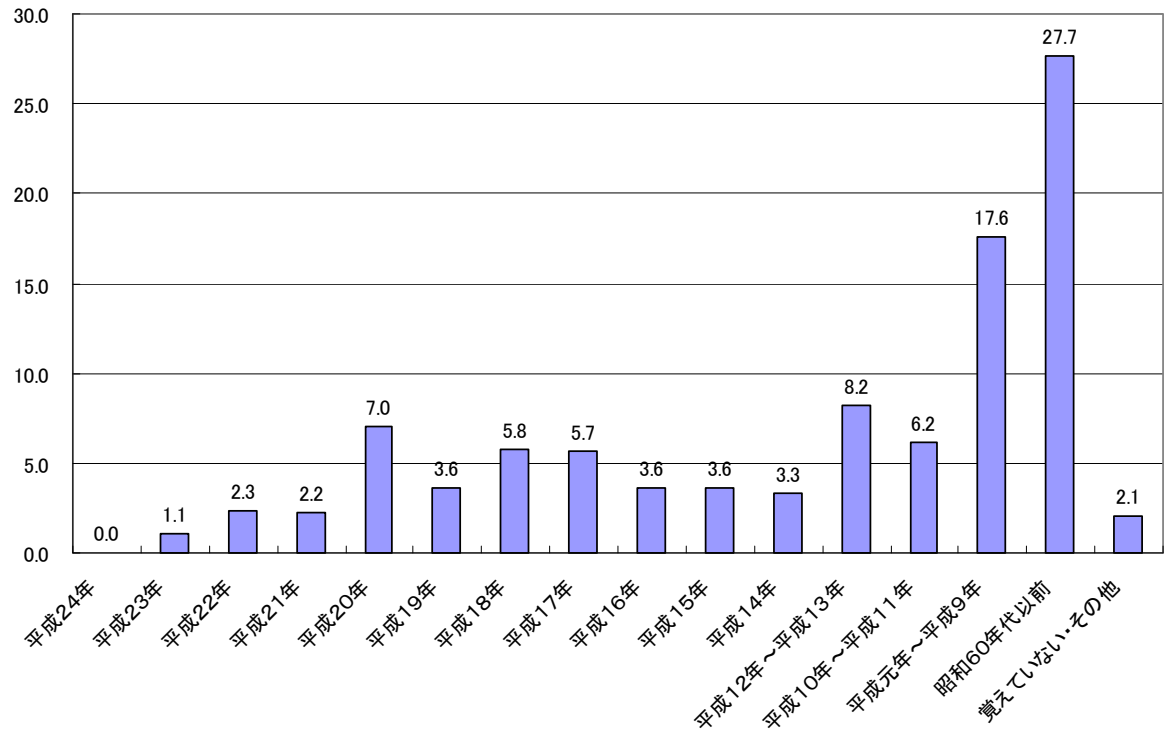
Q.1-2 保有する金融商品×年代 (MA)

	該当数	株式(国内 で発行され たもの)	投資信託(国内で設定 されたもの)	公社債(国 内で発行さ れたもの)	海外ファンド ・海外株式 等	FX、CFD、 商品先物取 引	投資用不動 産	外貨預金	その他	現在保有し ていない
全 体	1000	795	466	164	106	134	69	278	31	36
	100.0	79.5	46.6	16.4	10.6	13.4	6.9	27.8	3.1	3.6
20～29歳	12	10	7	7	4	4	3	6	0	0
	100.0	83.3	58.3	58.3	33.3	33.3	25.0	50.0	0.0	0.0
30～39歳	133	100	60	15	9	46	6	41	3	4
	100.0	75.2	45.1	11.3	6.8	34.6	4.5	30.8	2.3	3.0
40～49歳	241	192	94	39	25	38	14	76	8	12
	100.0	79.7	39.0	16.2	10.4	15.8	5.8	31.5	3.3	5.0
50～59歳	284	224	133	45	37	34	29	83	8	9
	100.0	78.9	46.8	15.8	13.0	12.0	10.2	29.2	2.8	3.2
60～69歳	250	202	130	48	19	11	10	55	10	8
	100.0	80.8	52.0	19.2	7.6	4.4	4.0	22.0	4.0	3.2
70歳以上	80	67	42	10	12	1	7	17	2	3
	100.0	83.8	52.5	12.5	15.0	1.3	8.8	21.3	2.5	3.8

Q.2 投資を始めた時期

Q.2 あなたは、いつから金融商品に対する投資を行っていますか。(SA)

	回答数	%
全体	1000	100.0
平成24年	0	0.0
平成23年	11	1.1
平成22年	23	2.3
平成21年	22	2.2
平成20年	70	7.0
平成19年	36	3.6
平成18年	58	5.8
平成17年	57	5.7
平成16年	36	3.6
平成15年	36	3.6
平成14年	33	3.3
平成12年～平成13年	82	8.2
平成10年～平成11年	62	6.2
平成元年～平成9年	176	17.6
昭和60年代以前	277	27.7
覚えていない・その他	21	2.1



Q.3 金融商品の投資累計額とリターン額

Q. 3-1 あなたがこれまで株式(国内で発行されたもの)に新規投入した金額の累計額はいくらですか? また、「現時点での累積投資リターン」(現在時価+口座から引き出した金額)はいくらですか。/株式:投資累計金額(万円)(NU)

	該当数	最小値 (万円)	最大値 (万円)	平均値 (万円)	「累計額-リターン額」 損益額平均値 (万円)※	「損益額/投資 累計額」損益率 平均値※2
株式に新規投入した金額の累計額。/投資累計金額(万円)(NU)	861	1	9000	956.77	-295.01	-28.6%
株式の「現時点での累積投資リターン」(現在時価+口座から引き出した金額)(万円)(NU)	861	1	12000	661.76		

Q. 3-2 あなたがこれまで投資信託(国内で発行されたもの)に新規投入した金額の累計額はいくらですか? また、「現時点での累積投資リターン」(現在時価+口座から引き出した金額)はいくらですか。/投資信託:投資累計金額(万円)(NU)

	該当数	最小値 (万円)	最大値 (万円)	平均値 (万円)	「累計額-リターン額」 損益額平均値 (万円)※	「損益額/投資 累計額」損益率 平均値※2
投資信託(国内で発行されたもの)に新規投入した金額の累計額。/投資累計金額(万円)(NU)	576	1	6000	547.05	-165.48	-30.7%
投資信託(国内で発行されたもの)の「現時点での累積投資リターン」(現在時価+口座から引き出した金額)(万円)(NU)	576	1	7500	381.57		

※. 「累計額-リターン額」損益平均値:各該当者の「投資累計金額」(新規投入した金額の累計)から「現時点での累積投資リターン」(現在時価+口座から引き出した金額)を差し引いた金額を「損益金額」とし、この「損益金額」の該当者平均値。

※2. 「損益額/投資累計額」損益率:上記の「損益金額」から「投資累計金額」を割り込んだ損益率の平均値。

Q.3 金融商品の投資累計額とリターン額

Q. 3-3 あなたがこれまで**公社債(国内で発行されたもの)**に新規投入した金額の累計額はいくらですか？また、「現時点での累積投資リターン」(現在時価+口座から引き出した金額)はいくらですか。／**公社債:投資累計金額(万円)(NU)**

	該当数	最小値 (万円)	最大値 (万円)	平均値 (万円)	「累計額-リターン額」 損益額平均値 (万円)※	「損益額/投資 累計額」損益率 平均値※2
公社債(国内で発行されたもの) に新規投入した金額の累計額。／投資累計金額(万円)(NU)	282	5	5000	457.82	-119.91	-19.0%
公社債(国内で発行されたもの) の「現時点での累積投資リターン」(現在時価+口座から引き出した金額)(万円)(NU)	282	1	3200	337.91		

Q. 3-4 あなたがこれまで**海外ファンド・海外投資等**に新規投入した金額の累計額はいくらですか？また、「現時点での累積投資リターン」(現在時価+口座から引き出した金額)はいくらですか。／**海外ファンド・海外株式等:投資累計金額(万円)(NU)**

	該当数	最小値 (万円)	最大値 (万円)	平均値 (万円)	「累計額-リターン額」 損益額平均値 (万円)※	「損益額/投資 累計額」損益率 平均値※2
海外ファンド・海外株式等 に新規投入した金額の累計額。／投資累計金額(万円)(NU)	198	1	3000	414.79	-130.16	-15.7%
海外ファンド・海外株式等 の「現時点での累積投資リターン」(現在時価+口座から引き出した金額)(万円)(NU)	198	1	3000	284.63		

※. 「**累計額-リターン額**」損益額平均値:各該当者の「投資累計金額」(新規投入した金額の累計)から「現時点での累計投資リターン」(現在時価+口座から引き出した金額)を差し引いた金額を「損益金額」とし、この「損益金額」の該当者平均値。

※2. 「**損益額/投資累計額**」損益率:上記の「損益金額」から「投資累計金額」を割り込んだ損益率の平均値。

Q.3 金融商品の投資累計額とリターン額

Q. 3-5 あなたがこれまでFX、CFD、商品先物取引に新規投入した金額の累計額はいくらですか？また、「現時点での累積投資リターン」(現在時価+口座から引き出した金額)はいくらですか。／FX、CFD、商品先物取引:投資累計金額(万円)(NU)

	該当数	最小値 (万円)	最大値 (万円)	平均値 (万円)	「累計額-リターン額」 損益額平均値 (万円)※	「損益額/投資 累計額」損益率 平均値※2
FX、CFD、商品先物取引に新規投入した金額の累計額。／投資累計金額(万円)(NU)	196	2	6000	467.46	-209.56	-25.0%
FX、CFD、商品先物取引の「現時点での累積投資リターン」(現在時価+口座から引き出した金額)(万円)(NU)	196	1	3000	257.90		

Q. 3-6 あなたがこれまで投資用不動産に新規投入した金額の累計額はいくらですか？また、「現時点での累積投資リターン」(現在時価+口座から引き出した金額)はいくらですか。／投資用不動産:投資累計金額(万円)(NU)

	該当数	最小値 (万円)	最大値 (万円)	平均値 (万円)	「累計額-リターン額」 損益額平均値 (万円)※	「損益額/投資 累計額」損益率 平均値※2
投資用不動産に新規投入した金額の累計額。／投資累計金額(万円)(NU)	96	2	8000	1723.56	-369.69	7.5%
投資用不動産の「現時点での累積投資リターン」(現在時価+口座から引き出した金額)(万円)(NU)	96	22	9000	1353.88		

※. 「累計額-リターン額」損益平均値:各該当者の「投資累計金額」(新規投入した金額の累計)から「現時点での累積投資リターン」(現在時価+口座から引き出した金額)を差し引いた金額を「損益金額」とし、この「損益金額」の該当者平均値。

※2. 「損益額/投資累計額」損益率:上記の「損益金額」から「投資累計金額」を割り込んだ損益率の平均値。

Q.3 金融商品の投資累計額とリターン額

Q. 3-7 あなたがこれまで外貨預金に新規投入した金額の累計額はいくらですか？また、「現時点での累積投資リターン」(現在時価＋口座から引き出した金額)はいくらですか。／外貨預金：投資累計金額(万円)(NU)

	該当数	最小値 (万円)	最大値 (万円)	平均値 (万円)	「累計額－リターン額」 損益額平均値 (万円)※	「損益額/投資 累計額」損益率 平均値※2
外貨預金に新規投入した金額の累計額。／投資累計金額(万円)(NU)	351	1	2500	311.25	-65.21	-19.5%
外貨預金の「現時点での累積投資リターン」(現在時価＋口座から引き出した金額)(万円)(NU)	351	1	2500	246.05		

Q. 3-8 あなたがこれまで上記以外の金融商品(円預金以外)に新規投入した金額の累計額はいくらですか？また、「現時点での累積投資リターン」(現在時価＋口座から引き出した金額)はいくらですか。／その他金融商品：投資累計金額(万円)(NU)

	該当数	最小値 (万円)	最大値 (万円)	平均値 (万円)	「累計額－リターン額」 損益額平均値 (万円)※	「損益額/投資 累計額」損益率 平均値※2
上記以外の金融商品(円預金以外)に新規投入した金額の累計額。／投資累計金額(万円)(NU)	104	20	3900	562.41	-155.05	-15.2%
上記以外の金融商品(円預金以外)の「現時点での累積投資リターン」(現在時価＋口座から引き出した金額)(万円)(NU)	104	5	3500	407.37		

※. 「累計額－リターン額」損益平均値:各該当者の「投資累計金額」(新規投入した金額の累計)から「現時点での累積投資リターン」(現在時価＋口座から引き出した金額)を差し引いた金額を「損益金額」とし、この「損益金額」の該当者平均値。

※2. 「損益額/投資累計額」損益率:上記の「損益金額」から「投資累計金額」を割り込んだ損益率の平均値。

<経済評論家 山崎 元 氏のコメント>

「累計300万円以上の投資実績のある個人（投資家）」1000人とは、証券業に携わり資産運用を専門に評論活動や教鞭を取っている私にとって、大変興味深い調査対象だ。

近年の株価の低迷や円高などから想像はつくが、損益状況は、一言で言うと「お気の毒」だ。「貯蓄から、投資へ」というキャッチフレーズと共に歩んだ人は、残念ながら報われていない。株式も投信も投入額に対する損失率は3割近い。率直に言って、金融機関が宣伝に力を入れている投資信託の多くは手数料が高すぎるし、売り方が強引だ。

F X ・ C F D は、円高でも儲けることが出来るはずだが、損失率は2.5割だ。外貨の買いから入る投資家が多く、レバレッジが利くことが主な理由だろうが、ゼロサム・ゲーム的なギャンブルに近い世界で儲けることの難しさが表れてもいる。

驚いたのは、国内公社債で大きな損失を被っている人が少なくなかったことだ。儲けた人の方が損をした人よりも多いが、損をした人が調査対象者の9.5%もいる。近年は金利が低下する局面だったし、為替リスクも無いはずだ。デフォルトした債券もごく少ない。最初はデータの間違いかと思ったが、彼らが、いわゆる「仕組み債」に投資していたのなら、この結果にも納得できる。そもそも仕組み債は、売り手側に極度に有利な条件で設計されていることが殆どであり、いかなるものにも投資しない方がいいのだが、大きな損失を被っている投資家は、リスクも見誤ったのだろう。

証券、銀行など投資信託の販売会社も含めた広い意味での運用業界にとって反省材料とすべきデータだろう。

以上